

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆政府、通常国会に59法案提出と伝達 年金やサイバー防御

・橋官房副長官は衆院議院運営委員会理事会に出席。政府が24日召集の通常国会に59本の法案と13本の条約承認案を提出する予定と伝えた。年金制度改革法案や「能動的サイバー防御」法案などを審議する。通常国会の会期は6月22日までの150日間。政府は24日に2025年度予算案を提出し、3月末までの成立を目指す。

◆株主優待の新設7年ぶり最高 上場基準クリアへ個人に的

・株主優待制度が活況を取り戻している。新たに導入した上場企業は2024年に131社と前の年より50社(62%)増え、7年ぶりに最高に。「株主平等の原則にそぐわない」との機関投資家の声で近年は停滞気味だったが、東京証券取引所の上場基準が厳しくなるなか、新規株主の獲得や株価の下支え効果を狙った新設が増えた。

◆被災道路の復旧作業、国の代行円滑に 国交省が法改正へ

・国土交通省は地震や津波で被災した道路の復旧作業を、国が円滑に代行できる仕組みを設ける。事前に策定する復旧計画で優先すべき道路だと明記すれば、都道府県などの道路管理者の承認を省略できるようにする。救援活動や物資の搬送のために道路の復旧は優先度が高い。次期通常国会に提出を検討する。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆2024年「後継者難」倒産、最多は建設業の105件

・東京商工リサーチは2024年の「後継者難」倒産の調査結果を発表。後継者不在が要因の「後継者難」倒産(負債1000万円以上)は、前年比7.4%増の462件と5年連続で過去最多を更新。要因別では、「代表者の死亡」が257件(同29.1%増、構成比55.6%)と2022年(223件)を上回り、過去最多を更新した。

◆電力需要、AI関連で上振れ加速 東京や北海道で顕著に

・電力広域的運営推進機関(OCCTO)は今後10年間で国内の電力需要が6.2%増える見通しを発表。2030年度の需要は24年1月に公表した予測値から1%上方修正した。データセンター(DC)や半導体工場など人工知能(AI)関連の施設が増える東京や北海道電力管内で伸びが顕著で、送電網や電源の整備が課題となっている。

◆ダイキン、台湾で合併会社 半導体工場向け空調を製造

・ダイキン工業は台湾の大型空調メーカー、力菱(リーリン、彰化県)などと合併会社を設立したと発表。リーリンと組み、台湾積体回路製造(TSMC)の半導体工場向けなどをはじめ、高単価な大型空調の販売機会を探る考え。「大金(台湾)応用空調系統」を2024年8月に設立。このほど合併会社の製造工場での事業を開始。

《 注目商品 》

■ノーリツ、スリム型ノンフィルターレンジフード「Curaraシリーズ」

・スリム型ノンフィルターレンジフードの「Curara(クララ)シリーズ」をモデルチェンジし、3月3日より発売。オイルトレイとワンタッチで外せる内部ファンの表面加工をフッ素塗装に改良し、既存カラー「シルバー」を温かみのある「ウォームシルバー」に変更。



■ダイキン工業、「おひさまエコキュート」「ホッとエコフロア」

・太陽光発電の余剰電力を利用して、主に昼間に沸き上げを行う給湯機「おひさまエコキュート」と、エアコンとの連動が可能なヒートポンプ式温水床暖房「ホッとエコフロア」を販売。床暖房の運転開始と連動してエアコンも暖房運転し部屋を素早く快適に温める。



■LIXIL、高性能中高層ビル用アルミサッシ「PRESEA-S」高性能仕様

・「PRESEA-S」高性能仕様は、JIS規格の最高等級を上回る耐風圧性・水密性を確保。加えて、アルミサッシのガラス溝幅を46mm(引違い窓、片引き窓の場合)に拡大し、断熱性を保ちつつ、高強度に対応できる厚板ガラスや高遮音の厚板ガラスの装着が可能。

